



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリー・クラブ
2011～2012年度

会報

愛と笑いで創ろう友の和・広げよう奉仕の輪



2011. 11. 01. 第989回例会 No.22-17 2011. 11. 09発行

片倉ガバナー公式訪問3クラブ合同例会

- ◎司会 多摩RC 渡邊 修三
◎開会点鐘 東京多摩RC(第2043回) 高野 隆夫
東京稲城RC(第1852回) 奈良部義彦
東京多摩GRC(第989回) 小泉 博



- ◎国家「君が代」斉唱
ロータリーソング 「奉仕の理想」
ソングリーダー 東京多摩GRC 吉沢 洋景
四つのテスト唱和 東京稲城RC 田村 安久
◎お客様紹介 会長 小泉 博
国際ロータリー第2750地区ガバナー 片倉 章雄 様
" 地区幹事 中野 陽一 様
多摩東グループ ガバナー補佐 篠塚 武雄 様
" グループ幹事 荒井 明雄 様
◎会務報告 東京多摩RC 高野 隆夫
東京稲城RC 奈良部義彦
東京多摩GR 小泉 博
◎幹事報告 東京多摩RC 一宮 龍之
東京稲城RC 川島 保之
東京多摩GRC 荒瀬義機

【 委員会報告 】

- ◎出席報告 出席奨励委員会 宮村 宏
会員総数 34名
出席義務者数 24名
出席者数 出席義務者 13名
出席義務免除者 6名
事前MU 1名
計 20名
出席率 20/29 = 68.97%
第987回例会(10/20) 訂正出席率 64.29%

- ◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 遠藤 二郎
小泉 博 片倉ガバナー・中野地区幹事・篠塚
ガバナー補佐・荒井グループ幹事
お世話になりました。これからもご指導
宜しくをお願いします。
荒瀬 義機 片倉ガバナーようこそいらっしゃいま
した。これからも宜しくお願い致します。
遠藤 二郎 片倉ガバナー・中野地区幹事・篠塚
ガバナー補佐・荒井グループ幹事
ようこそ！
伊藤 英也 ガバナー訪問3クラブ合同例会を記念
して。
伊澤ケイ子 片倉ガバナー公式訪問を祝して。
大松 誠二 鎌倉街道・関戸祭りに澄川さん参加
有難う、楽しいお祭りだったね。
宮本 誠 ガバナーようこそ！
宮村 宏 公式訪問を祝して。
中谷 紘子 ガバナー公式訪問をお祝いして。
齋藤 誠壽 ガバナー公式訪問を祝して。
関岡 俊二 ガバナー公式訪問を祝して。
澄川 昇 ガバナー公式訪問を祝して。
海野 榮一 ガバナー公式訪問三クラブ合同例会
を祝して。

本日の合計¥18,000 (累計¥311,051)

- ◎卓話 卓話者紹介 多摩東グループ
ガバナー補佐 篠塚 武雄様



片倉氏は、1951年に成蹊大学を卒業後、企業に勤められ、その後1967年に片倉興産(株)取締役役に、2000年には同取締役相談役に就任いたしました。ロータリー暦は、1979年に東京日本橋ロータリークラブにご入会し、1988年にはクラブ国際奉仕委員長を、2000-2001年に同クラブ会長、2002-2003年には千代田グループのガバナー補佐、2005-2006年には地区社会奉仕委員長としてご活躍されてきています。学生時代はラグビーをされていたスポーツマンでいらっしゃいます。本日はユニークなお話を伺えるかと思います。



日頃より地区にご協力を、またご活躍をいただきありがとうございます。

本日は、東京多摩RC、稲城RC、多摩グリーンRCの各会長・会長エレクト・幹事の皆様に活動方針、長期計画などについて説明を頂きました。

さて、本年度RI会長は会員増強維持委員会を設

置されました。現在、日本の会員数は世界で2番目の割合で減少しており、最近もシカゴで日本の減少に歯止めをかけるために、その対策が話し合われたそうです。

3月11日に起きた東日本大震災、被災された方々には謹んでお見舞いを申し上げ、1日も早い復興をお祈り申し上げます。この大震災には皆様から大変多くのご支援を頂きました。昨年度発足した大震災復興支援地区委員会を引き継ぎ、本年度は復興支援地区委員会を立ち上げ、各クラブの復興支援プロジェクトのサポート、コーディネート等のため活動しています。皆様からの支援金は8月現在で約1億1千万円となり、昨年度約8千万円を日本ガバナー会に義援し、被災地に支援物資も送りました。世界中のガバナー会より寄せられた義損金総額は約10億4千万円となり、当面の資金として1億2300万円が被災直後に被災地に届けられました。残りの用途について昨年度のガバナー会で維持・育英プロジェクトを中心とするとの提案がありましたが、今年度のガバナー会では被災地の現状から維持・育英プロジェクトが困難なこと、被災された方々への支援が最優先でないかとの意見もあり、地区ごとに「維持・育英プロジェクトを行う」または「ガバナー会から払い戻しを行い独自に運用、残る資金で維持・育英プロジェクトを行う」こととしました。当地区は全額払い戻しを申請し、復興支援地区委員会で管理し各クラブによる復興支援に積極的に活用していくこととしました。現在、残高は約9600万円、クラブの意思を反映し易いように資金を2つの枠に分けました。A資金は各クラブが拠出した資金に応じて優先して使用できる枠、B資金は各クラブのA資金がなくなった場合、不足する場合に活用できる枠です。

10月には仙台周辺の被災地区を視察致しました。被災地の実状を視て、まだまだ復興に時間がかかると痛感しました。引き続きのご支援をお願いいたします。

次に本年度のRIテーマと強調事項、地区強調事項、重点目標について触れさせていただきます。本年度のRIテーマは「心の中をみつめよう 博愛を広げるために」です。このテーマをあげられたカルヤン・バネルジー会長は慈愛に満ちた思慮深い方です。大震災には逸早く、お見舞いを頂きました。世界中からもお見舞いが届いており、まさに博愛そのものだと思感いたしました。

次に強調事項は、家族、継続、変化の3点です。昨今、希薄になりがちな家族がどれほど人の根底に関わる絆であったのか、今回の震災で実感させられたのは私だけではないと思います。継続は、新世代奉仕部門を通して明日のリーダーを育成する活動が継続・進化しなくては

なりません。継続は力なりですが、簡単なことでも継続は容易ではありません。これからも地域を育む活動を続けて行きましょう。変化は、今回の震災、原発問題で日本は一瞬にしてエネルギー問題に直面しました。エネルギー問題は地球規模で刻々と変化しており、常に大きな課題です。変わり続ける文明・経済・価値観に対応し我々の活動も変化しなければなりません。私たちはロータリーを通して世界をより良い方向に変えることを望んでいる同志であることを胸に刻んで頂きたいと思います。

次に地区強調事項です。クラブにおける長期計画の立案と推進が1つ目です。長期計画には3つの優先項目「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」があります。もう1つは職業奉仕を基盤とした5大奉仕活動の推進です。5大奉仕とは「クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕」です。中でもビジネス界のリーダーである我々ロータリアンは職業奉仕が重要です。各々職業を通じて技能と専門知識を提供し、人々に意欲と感動を与えて行きたいものと思います。

最後に重点目標です。1つ目は拡大です。各クラブ1名以上の増強、地区1クラブ以上の拡大です。ポイントは、年齢、女性、職業分類です。過日の地区協議会では若年層への配慮として、35歳未満の会員に対し地区人頭賦課金を半額にすることが決議されました。

R財団への支援は、年次寄付1人100ドル以上、大口寄付者は地区で5名以上などの目標があります。この財団寄付は、東日本大震災の復興を目的とした基金の設置しロータリー東日本震災復興基金日本委員会により管理・プロジェクト審査されることになりましたが、従来の人道的支援等にも活用できます。各クラブで使用できるものは、「ロータリー東日本震災復興基金」「財団基金」「復興支援プロジェクト地区支援金」の3つです。

もう1つは、米山記念奨学会への支援です。寄付目標は8千万円です。地区内には大学も多く、優秀な外国人奨学生がいます。しかし、昨年の個人平均給付額は34地区で13番目と寂しい状況です。大震災により日本を離れた外国人が多いなか、東京米山友愛RCの会員が「世話になった日本人は震災があっても日本で暮らしていく。私たちも共に日本でがんばろうではないか」と話され、これに感動した他の9ヶ国の会員も日本で共にがんばろうと一致団結したということです。

また、ロータリーカードもポリオプラス及び被災地復興支援に繋がりますのでご利用をお願いします。

さて、国際ロータリー会長となった日本人は2人います。そして来年度、30年ぶりに日本人3人目となる会長が生まれる予定です。これを機に会員増強、奉仕活動、親睦活動などをがんばってまいりましょう。

◎御 礼 東京多摩RC 会長 高野 隆夫

本日は、早朝よりありがとうございました。懇談会では、各クラブの日頃の諸問題等に的確なご指導を賜わり、また卓話をお聞きして震災支援等について我々はもっと頑張らねばならないと改めて感じさせられました。

◎閉会点鐘 東京多摩RC 会長 高野 隆夫 東京稲城RC 会長 奈良部義彦 東京多摩GRC会長 小泉 博 (今週の担当: 片山 哲也)